

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

生体肝移植術中脾臓摘出術併施の短期及び長期成績に関する検証

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・乳腺外科

【研究責任者】 高田 泰次（肝臓・胆のう・膵臓・乳腺外科 教授）

【研究代表者】 九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科学分野 准教授 吉住 朋晴

### 【研究の目的】

過去に愛媛大学医学部附属病院で生体肝移植を受けられた患者さんで、移植前、あるいは移植術中、術後に脾臓摘出術を受けた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、脾臓摘出術を受けられた患者さんの短期および長期成績を明らかにすることにしました。この研究により生体肝移植における脾臓摘出術の影響が明らかとなり、今後の診療に役立つことができると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）愛媛大学 肝臓・胆のう・膵臓・乳腺外科において2008年1月1日から2017年12月31日までに生体肝移植を施行した患者様のうち、脾臓を肝移植術前、術中、あるいは術後に摘出した22例の患者さんを対象にします。ご自身が該当されるかどうかかわからない場合は外来担当医にお尋ね下さい。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

## 〔取得する情報〕

### A) 症例基本情報：

ドナー：手術時年齢、性別、生年月、身長、体重、血液型

レシピエント：手術時年齢、性別、生年月、身長、体重、血液型、術前リツキサン使用の有無、術前状態（自宅待機、入院、ICU 管理）

B) 肝移植情報・術前レシピエント検査データ：WBC、好中球(%)、リンパ球(%)、単球(%)、血小板、Alb、T-bil、PT-INR、クレアチニン、MELD、Child-Pugh 点数、CRP、AFP、PIVKA-II、原疾患、肝臓合併の有無、ミラノ基準、術前 PSE 既往の有無

術前感染症（1 か月以内）、

手術日、グラフト重量、手術時間、出血量、輸血の有無、カルシニューリン阻害剤の種類、代謝拮抗剤使用の有無、

術後 14 日目の T-bil、PT-INR、腹水量

門脈血栓合併の有無、合併の場合発症日

膣液ろう合併の有無、

再開腹の有無、ありの場合原因

術後 6 か月以内の急性拒絶反応合併の有無、

術後 6 か月以内の敗血症合併の有無、敗血症ありの場合、血液培養での原因菌

### C) 治療経過：

肺炎球菌ワクチン接種の有無、ワクチン接種日

術後 6 ヶ月以降の敗血症合併の有無、発症日、血液培養での原因菌、敗血症の転帰

全生存期間、グラフト生存期間、死因

## 【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって九州大学病院・施設に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

## 【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・乳腺外科 小川晃平

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝臓・胆のう・膵臓・乳腺外科 小川 晃平

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327